

SDGs 学校支援ボランティア報告

令和5年9月26日
南九地質株式会社
総務部 樋口 瀬衣

標記の件、学校支援ボランティアへ参加しましたので、下記の通り報告します。

記

日時：令和5年9月26日（火）9時30分～11時30分
場所：原良小学校区内
内容：以下の通り

2年生活科「町たんけん」安全支援

支援員…保護者19名、地域ボランティア（樋口含む）15名 計34名。

児童は1グループ5～6名の35グループに分かれて原良小学校区内の店舗や施設へインタビューに行きます。支援員が各グループ1名ずつ同行しました。

9：30 原良小集合、打ち合わせ
9：50 授業開始、児童と対面
10：15 町たんけん出発
11：15 学校集合、授業まとめ

支援内容

- 交通安全見守り
- タブレットで写真撮影
- 道中の水分補給



地図を見ながら、子供たちの力で目的地へ向かいます。



原良小から徒歩約15分で目的地のカレー店に到着。



「1日にどのくらいお客さんが来ますか」
「働いていて嬉しいのはどんなときですか」
とオーナーへ質問する児童たち。



車が歩道を横切るときは「お先にどうぞ」と車を優先させるよう、学校で丁寧な交通指導を受けています。

まとめ

昨年に引き続き「町たんけん」ボランティアへ参加しました。今年からグループに1台タブレットを渡され、支援員は子供たちの様子の撮影係も担いました。小学2年生がタブレットをカメラや時計として活用しており、学校現場の電子化への移行を感じました。

途中で子供たちは目的地の方向が分からなくなったので、私は出発地である小学校をヒントに方向を確認させました。それでも難しい様子だったので、私は「向こうじゃないかな？」と方向の答えを言ってしまいました。しかし子供たち自身でもっと考えたり、間違った方向へと探検したりする時間は十分あったので、学習のためには待つべきだったと反省しました。

今後も学校支援ボランティアへ参加するため、支援が必要な機会がないか、係の先生に定期的に連絡を取る予定です。

以上